

広 報

ふじがわ

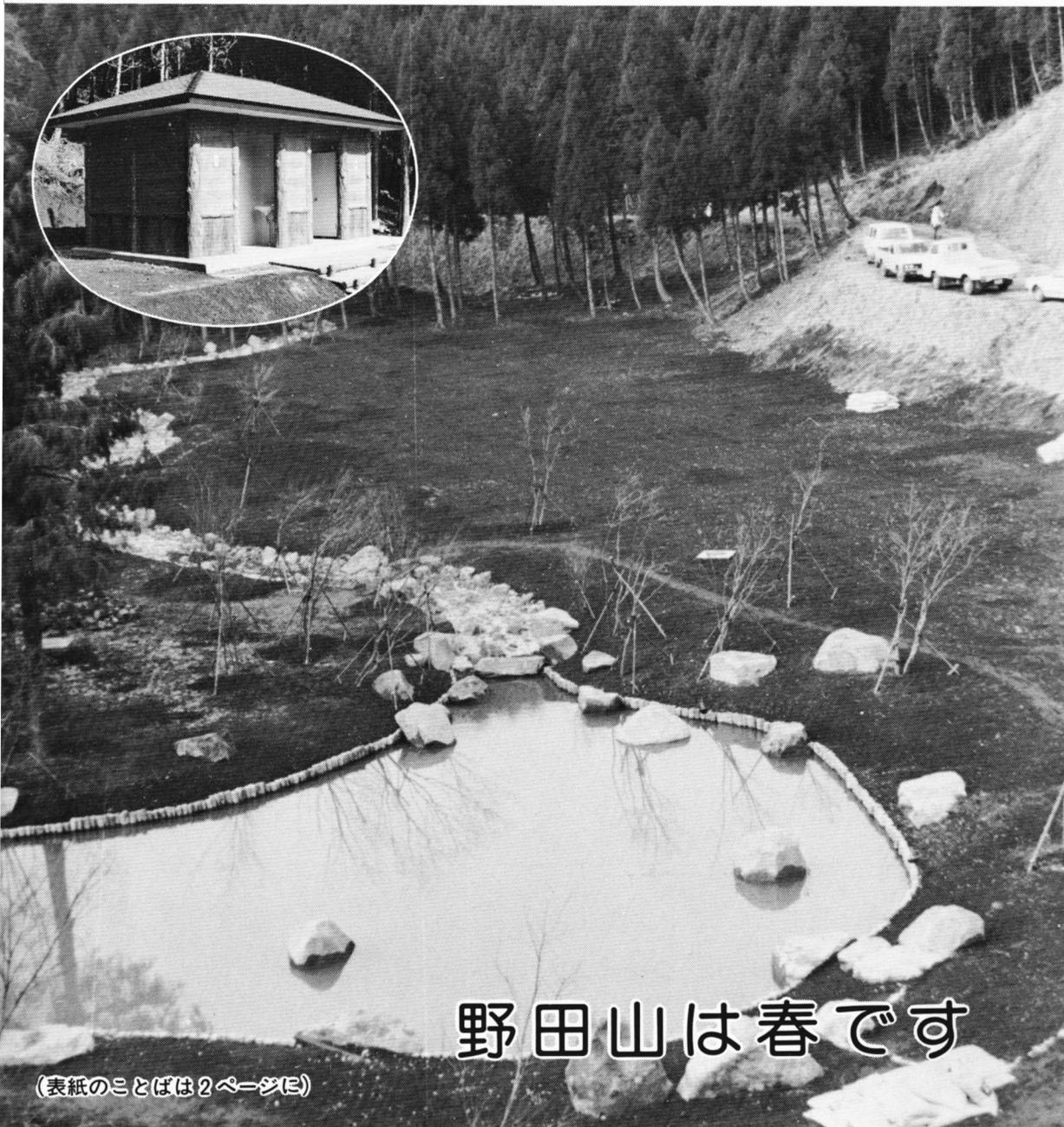
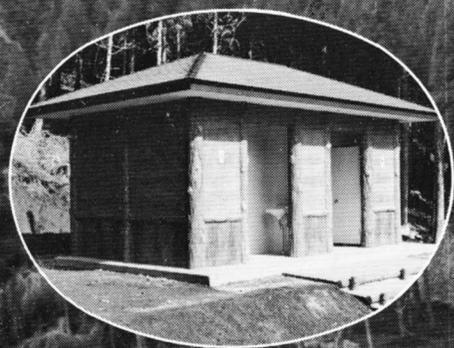
3 月号 昭和58年 3月22日発行

No. 260

町のメモ

昭和58年 3月1日現在	
人口	16,992人
増減	+1人
男	8,400人
女	8,592人
世帯数	4,326世帯
面積	31.09㎡

富士川町 総務課



町の今年の目標
 「笑顔であいさつ明るい町に」

野田山は春です

(表紙のことは2ページE)

中央公民館建設基金積立金に 1,633万円 財政調整基金積立金に 3,000万円を補正 昭和57年度一般会計は26億1,496万円に

町議会の3月定例会は、3月9日(水)午
前9時から議場で開催され、常葉町長の一般
行政報告・昭和58年度重点施策を皮切りに、
昭和57年度一般会計補正予算や昭和58年度一
般会計予算、国民健康保険・水道事業・土地
取得・老人保健の各特別会計、選挙管理委員
同補充員の選挙について、野田育英奨学基金
条例の一部を改正する条例について、町立幼
稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例に
ついてなど十八議案が審議され、本会議最終
日の18日(金)にはすべて原案どおり可決さ
れました。

昭和57年度一般会計補正予算は、事務合理
化基金や財政調整基金・野田育英奨学基金・
中央公民館建設基金への積立金・都市計画道
路用地取得費が主ですが、反面、県委託事業
中野宅内主道路埋設下水管布設委託金、人
勤凍結による人件費などが減額されたため四
千九百八十万円の減額補正となり、予算総額
は二十六億一千四百九十六万円となります。
なお今月は3月定例会の内、一般行政報告
と昭和57年度一般会計補正予算を紹介するこ
ととし、昭和58年度の重点施策とそれを反映
した各予算は4月号で特集します。

一般行政報告

◎県企業局による中野宅地分譲事
業は新年度から一部造成開始
中野の用地買収については、み
なさんのご協力をいただき、厚く
お礼を申し上げます。
未契約のみなさんに対しての用
地交渉は、鋭意進めています。し
かし現状では、新年度への一部繰
越しもあるかもしれません。また
これと平行して行っています持家
のみなさんとの話し合いは、基本
的に了解をいただき、個々の話し
合いに入っています。つぎに、遺
跡の発掘調査は予定どおり進んで
おり、新年度も一部行われる予定
です。

◎共立蒲原総合病院は4月11日に
竣工式
建設中の病院もほとんど完成し
2月28日には建物など一部の引渡
しも終了、4月11日の竣工式に向
けて準備も着々と進んでいます。
一方周辺の植樹工事も進んでお
り、加えて4月26日には県主催の
植樹祭も病院用地内で行われま
す。そして5月1日には、待望久
しい新病院の開院となります。
また、4月中旬には町民のみな
さんに対しての施設見学も予定し
ています。地域の医療の飛躍的な
発展を期待したいと思います。

◎都市計画道路の岩淵一池下線
は測量を実施中
都市計画審議会で決定された岩
淵一池下線ですが、地元関係者
や法人のみなさんの了解もいた
き、現在測量に入っています。一
部法人のみなさんの要望もありま
す。

◎地方統一選挙——県議会選挙が
4月10日・町議会選挙が4月23
日投票
昭和58年は選挙の年です。4月
に入りまずと地方統一選挙があ
り、県議会議員選挙は3月29日告
示・4月10日投票で、町議会議員
選挙は4月17日告示・4月24日投
票で行われます。有権者数は、昨
年9月2日現在の定時登録で、男
五千七百七十八人、女五千九百六
十九人の計一万一千八百五十七人
となっています。

敷地の計画
昭和57年度から五カ年計画
でスタートした「野田山保健
休養林造成事業」も本年度工
事が完成に近づいた。太師広
場は、きれいに整備され、池
には間伐のすんだ森林が映し
出されていた。
3月定例会で常葉町長は
「野田山健康緑地公園の本年
度工事は順調に進み、ほとん
ど完成しました。太師広場を
中心とした公園・ハイキング
コースの整備・便所の新設も
終了、面目を一新しました。
町民のみなさんの利用を期待
したいと思っています。
新年度については、太師広
場の植栽・東屋の建設などに
重点をおいて計画し、キャン
プサイトなども全体計画の中
で行う予定です。今後は、施
設の維持管理や道路の補修な
ども行わなければならないと
思っています」と、現況と抱
負を語っていた。

したので、測量の範囲も多少拡げ
ています。

◎老人保健法は成人病の予防と早
期発見が目的
本年2月1日から老人保健法が
スタートして、六五歳以上の寝た
きりの方を含む七〇歳以上のお年
寄りのみなさんは、すべて市町村



が取扱う老人保健で医療を受ける
ことになりました。この老人保健
法は、著しい高騰を示している老
人医療費に歯止めをかけるべく、
一部有料制を取り入れています
が、この法律の本来目的とするこ
ろは成人病の予防と早期発見な
ど、国民の老後における健康保持
と適切な医療の確保をはかるた
め、保健事業を総合的に行おうと
するものです。

◎青少年問題対策協議会の設置を
検討
最近の青少年非行にみる事件は
家庭や学校だけで対処できないも
のがあり、大きな社会問題として
あらゆる観点からこの問題に取組
む必要に迫られています。当町で
も、今まで一部の出来事として教
育関係者を中心に対応してしま
したが、問題解決のためにはあらゆ
る層のみなさんの協力が必要とな
ります。その中で、松野地区では
対策協議会を発足させ、具体的な
活動に入っています。

◎都市計画審議会が決定された岩
淵一池下線ですが、地元関係者
や法人のみなさんの了解もいた
き、現在測量に入っています。一
部法人のみなさんの要望もありま
す。

◎地方統一選挙——県議会選挙が
4月10日・町議会選挙が4月23
日投票
昭和58年は選挙の年です。4月
に入りまずと地方統一選挙があ
り、県議会議員選挙は3月29日告
示・4月10日投票で、町議会議員
選挙は4月17日告示・4月24日投
票で行われます。有権者数は、昨
年9月2日現在の定時登録で、男
五千七百七十八人、女五千九百六
十九人の計一万一千八百五十七人
となっています。

◎老人保健法は成人病の予防と早
期発見が目的
本年2月1日から老人保健法が
スタートして、六五歳以上の寝た
きりの方を含む七〇歳以上のお年
寄りのみなさんは、すべて市町村

◎青少年問題対策協議会の設置を
検討
最近の青少年非行にみる事件は
家庭や学校だけで対処できないも
のがあり、大きな社会問題として
あらゆる観点からこの問題に取組
む必要に迫られています。当町で
も、今まで一部の出来事として教
育関係者を中心に対応してしま
したが、問題解決のためにはあらゆ
る層のみなさんの協力が必要とな
ります。その中で、松野地区では
対策協議会を発足させ、具体的な
活動に入っています。

◎都市計画審議会が決定された岩
淵一池下線ですが、地元関係者
や法人のみなさんの了解もいた
き、現在測量に入っています。一
部法人のみなさんの要望もありま
す。

◎地方統一選挙——県議会選挙が
4月10日・町議会選挙が4月23
日投票
昭和58年は選挙の年です。4月
に入りまずと地方統一選挙があ
り、県議会議員選挙は3月29日告
示・4月10日投票で、町議会議員
選挙は4月17日告示・4月24日投
票で行われます。有権者数は、昨
年9月2日現在の定時登録で、男
五千七百七十八人、女五千九百六
十九人の計一万一千八百五十七人
となっています。

補正予算の内容

総務費に三千二十二万円

土木費へ 一千三百七十六万円

◎事務合理化設備基金積立金へ 三百七十五万円

◎東町都市計画道路用地費へ 一千四百五十六万円

◎財政調整基金積立金へ 三千万円

◎野田育英奨学基金積立金へ 一千万円

農林水産業費に 二百五十五万円

◎中央公民館建設基金積立金へ 一千六百三十三万円

◎温州みかん園転換促進事業費 補助金 二百二十五万円

◎野田育英奨学基金積立金へ 一千万円

◎財政調整基金積立金へ 三千万円

◎東町都市計画道路用地費へ 一千四百五十六万円

◎事務合理化設備基金積立金へ 三百七十五万円

◎野田育英奨学基金積立金へ 一千万円

農林水産業費に 二百五十五万円

◎中央公民館建設基金積立金へ 一千六百三十三万円

広報ディスプレイ

今月のテーマ

わが家の一年生

いっぱい友だちを作り
いっぱい遊んで

一日入園も先日行われ、後は入園式を待つばかりとなりました。わが家は娘一人で、親にとっても始めて経験することばかり。心配だったり、まごつきもしましたが娘の頭の中は幼稚園への憧れで一杯のようです。保育用品が、園服が、クツが一つそろったに胸がはずむようで「もうすぐ幼稚園」をくり返し口ずさんでいます。娘

にせがまれ、私も慣れぬ手つきで袋物を縫ったり、したくを始めました。時代が変わり、人が変わり、格好や持ち物が変わったけれど親が子を思う気持ちは変りないようです。わがかりきつたことではあります。わが子をもち、育て、始めて親の心が少しながらかつた気がします。「いいたいことばかり言っ

いっぱい遊んで、泣いたり笑ったり、その中で大切なものを見つけ、心身ともに成長してくれることを期待し願っています。

友だちと一緒に

ソフトボール部へ

本通り三 斎藤富士子さん(42) 月日の流れは早いもので、私が富士川町に嫁して、二十年が流れ去ろうとしている。長女は短大一年生、長男は高校二年生、末娘が中学の一年生になる。夜になり三兄弟が集まると、中学の話、部活

いつでも笑顔で

触れ合いを大切に

富士見町 小泉芳江さん(18)

だ。走って行く間にはいろいろなこんな人が待ちうけていると思う。けれどもそれにまけないように力をつけていきたい。そのためにも中学に入る時は私なりの目標を立てて、少しでもそれに近づけるように努力したいと思う。それも、あまり先の目標ではなく、今やる目標を勉強・運動などに立てて一つずつ前に進もうと思っています。

4月のテーマ

私の旅日記

「紅の林の中に貴女の顔 想い出させる 警梯の旅」友人の女房より。 「オイ」旅行は足腰の丈夫な時に行け、弱くなったら伴って行かぬぞ、と言われて何年か前から旅に出る機会が多くなったことは事実である。数えてみれば、小旅行を含め数多く参加している。根が酒好きなので、旅は面白く、楽しく思う。また主婦のみなさんが三度の食事労働から解放され、体を休養させることができるのも旅である。 旅先で湯泉にとっぷりつき、明日への活力を養う



提言者 小林明子

4月から中学生、不安もあるけど、今の私は中学生になるうれしさや楽しさでいっぱい。ちよつぴり大人っぽくみえるセーラー服、中学生になれば、やることがいっぱい待っている。よく母は「中学

三年間はあつというまに過ぎてしまふよ」と言っている。確かに中学三年間で、将来の道をきめる一つの出発点になるかもしれない。また部活動という小学校にはない新しい物が私たちを待っている。勉強の中にも英語が新しく入り、勉強・運動にとってもいそがしくなると思う。

でも4月には、みんな同じスタートラインに立って走り出すの

命を預る病院。一緒に働く先輩たちはもちろん、患者さん一人ひとりにも笑顔で接していきたい。そして、患者さん自身が病気だということをおぼえるような笑顔が返ってくればいいことはない。おだいに「私と私が言う、相手もほほ笑む。そこに触れ合いがある。私は、その数秒で終わってしまうような触れ合いを大切にしていきたい。

りなきような一年生ですが、幼稚園の先生は「友だちの面倒はみるし友だちも多くの心配もない」とのこと、わからないもの。今後は、どんな子どもに成長していくか楽しみですが、父親は職業がら転勤があり、途中で転校になる時がくると思います。ですから、それまでに多くの友だちを作り、明るく育てて欲しいと思います。

部活動などで

くいのない中学生生活を

二小六年 小池 功さん

いよいよ四月から中学生になります。楽しい思い出ができた小学校生活も終わり、中学へのスタートが今、始まるようになっています。 中学は、今までなかった英語や部活動などがあつて、「がんばってできるかな?」と、不安と期待でいっぱいです。部活動は、中学生を見ていると、朝は早く、その反対に夕方はおそく、とても大変そうだけれど、先輩といっしょにできるスポーツだから、楽しいことがいっぱいあるだろう。時には、つらく

友だちを多く作り
明るく育て

大楽達 中野静子さん(2)

わが家の子どもは、一男二女です。その内、この春一年生になるのは、わが家にとって将来何の期待もかけず、生まれたときから自由のままに成長してきた末娘でかえってそれが幸いか天眞爛漫、幾多の激しい兄弟ゲンカでもまれてきた根性は、少々なことではへこたれませんが、みんなからは「カオ」と呼ばれています。顔が悪いからというのではなく、父親がかわいいとつけた「香織」という名前がいつか「カオ」と呼ぶようになったのです。まだまだ頼

苦しい時もあるだろうが、くじけずに、力いっぱいがんばりたいです。小学校での校訓「誠実・規律・親切」の教えを守り、先輩からいろいろ教えてもらい、くいのない中学校生活ができるように努力していきたいと思っています。

わずか六歳の娘に

静岡へ通学を

四十九町 宇佐美 猛さん(4)

わが家の一年生さんは耳が聞こえない。町立第一小学校に入れたくて、八方手を尽したけれど、教育委員会の決定は聾学校だった。4月から小学生になると、絵カードと文字を使い一週間かかって教えて。机とランドセルも新しくしてふん囲気をもり上げる。どうやら理解できたらしく、瞳を輝かせている。けれど、せっかくなさくら幼稚園で得た友とも離ればなれになってしまふし、一緒に通学するのを楽しみにしていた姉の期待も裏切ってしまった。

4月から6時50分の電車に乗って、片道一時間半の静岡までの通学が始まる。二〜三ヵ月したら一人通学ができるように」と言われている。わずか六歳の娘に―― 親の不安は、いつ果てることもなく続く。

広い心を持ち

正しい判断や行動を

上町 斎藤嘉代子さん(4)

梅の花がほころぶころになるとやつと春が来たんだなあと、毎年そんな思いで過ごしていましたが今年はずっと違い、子どもだとはかり思い込んでいた長男が高校

の話になる。姉は「テニス部がいい。現代社会の絶対条件だ」と言い、兄は「女子の剣道部がカッコいい」と言い、本人は「仲良しの友だちがソフトボール部へ入部しようというから、ソフトボールにしようと考えている」と言い、三人三様。そして「中学に入ると、成績順位が三十番まではり出されるけど、その中に私は絶対入っていないから安心して」と言う。暇がある時、秤に小麦粉をのせ、卵を泡立て、ケーキ、クッキー作り

に夢中になり、またテレビを見ながらマンガを読み、世の中の恵まれた条件の中で、平凡な生活に、可もなく不可もなく日々を暮らしているようである。精神的にも、肉体的にも、健康に過して、くれることを祈る私です。

へ進学するまでに成長しました。

仕事、家事に追われ、何一つ充分なこととしてやれませんでしたが無事ここまで育ったことに、心から感謝しています。

高校はある意味で、人生の方向を決定する大事な時期だと思います。これからは自分で正しい判断と行動ができる自主性を身につけるとともに、親や友だちなどの意見も受けとめられる広い心の持主になって欲しいなど、親バカの夢も大きくふくらんで、何となく家の中が明るく感じられるのが嬉しくです。一方、そんな私の思いとは関係なく、わが家の一年生はホッとしたのか、父と弟とおもっ存分のんびり競争をしています。

宮町の松下さんが
善行表彰を



松下茂作さん (85)

2月18日、静岡県庁で県積善会(会長 藤森常次郎・豊岡村(村長)の創立一五周年記念大会が開かれ、席上、宮町の松下茂作さんが、長年にわたり宇多利神社に国旗を掲揚し、神木の枝払いや下刈り・間引き、また社



投稿者へ

- ◎4月のテーマ 私の旅日記
- ◎字数 四百字づつ原稿用紙一枚以内
- ◎締切り日 4月5日(火)まで
- ◎注意事項 住所・氏名・年齢記載のこと

殿補修などを行っている公共生活への貢献が認められ、善行表彰を受けました。そこで3月12日、松下さんのお宅を訪ね、お話をうかがってみました。 ――このような善行を行うようになった切っ掛けは? 松下さん 昭和45年ころかね、私と同窓生の長谷川健さんが神社総代会の会長になった時に、いろいろ手伝いをしたのが始めです。それが今まで続いているんです。お宮様に行つて体を動かしていると健康にもいいし、体が続く限り今後も続けようと思っています。

ママさん記者が取材中

～富士川町連合青年団～

一雨ごとに暖さを増す早春の小雨もこちよよい3月2日、役場庁舎二階会議室において、町連合青年団の高木浩司副団長、望月則和事務局長に会い、現在の青年団活動について話をうかがいました。

青年団の歴史は古く、一昔前までは地域におよぼす影響がかなり大きく、力強い祭り太鼓、勇壮な川かんじい、みごとなチームワークの駅伝など、若者がいたる所で地域をリードしていました。しかし、時代の推移とともに経済発展・技術革新の担い手として、当町から他地区へ若者の姿が流れていってしまいました。そこで、こうした過去の青年団を紹介して欲しいと語っていました。

以上をかかげ、事務局を町立図書館の一室に置き、団長・三人の副団長・事務局長・会計・三人の理事・監査を軸に、三支部(富士川・南松野・北松野)計五十五人の団員が社会・文化部、体育部、家政部に分かれ、各行事が円滑に行われるよう協力し合っています。

また、顧問の町長、議長、教育長、文協・体協・婦人会長のバックアップを仰ぎ、町・教育委員会各種団体との連携のもとに事業計画がなされており、ハイキング・バレーボール・卓球大会・駅伝など、盛りだくさんの行事を後援しています。一方、青年自身の教養を高めるとともに、友情を養い社会人としてのルールをしっかりと身につけ、地域に密着した青年団を作ることを目的にしているため、他町の青年団との交流会や研修会、ダンスパーティー、模擬結婚式などの他、各支部ごとのコミュニケーション作りも活発に行われ、盆踊りの指導は長年続いた貴重な活動の一つになっています。

現在、団員のほとんどがサラリーマンで、団活動に費やす時間がままならないとか。今後の課題としては、若者らしく、理想と時代の息吹を吹き込む先駆者として気負わず、気張らない楽しい青年団活動をみんなで作っていきたいと抱負を語っていました。うれ



右から望月事務局長・高木副団長と望月・久保田広報モニター

社会教育からの提言・警告

● 美食への警告

先般の新聞紙上で、全国高校生三年生の男子平均身長が、ついに百七十センチを超えたことを大々的に報道していたが、戦中生まれの私たちがから見ると、まさに驚きであり、うらやましい限りであった。しかし、こうした数的結果だけを見て、私たちは手をあげて喜んでいいものだろうか。確かに今の子どもは体格は良くなったが、一方では肥満、骨折、仮性近視、貧血病に始まり、果ては肝臓や腎臓などの内臓疾患、かつては考えられなかった疾病が子どもたちへ蔓延しつつあることも見逃すことはできない。こうした傾向は、インスタント食品の横行を始めとする食生活そのもののアンバランスが大きな要因をなしているのではないかと思うのである。

明治の思想家で教育者でもある福沢諭吉の「福翁自伝」によれば、翁が自分の子どもを育てる上で特に心したことは「衣よしも食」つまりは食事のバランスであったという。考えてみれば当然のことであって、ことさら書きたる程のことでもないが、今日のように食生活が美食過剰になると、この当然すぎるところが二の次となり、食に対する意識が粗末になってはいないかとも思う。その結果、前述の体格が良くても体力が伴わない虚弱な人間を増加せしめる原因になるのではないかと憂うわけである。

ともあれ、こうした傾向に歯止めをかけるため、食事を与える親が栄養のバランスを考え偏りのあるメニューで子どもに食事をさせない配慮が肝要であろうと思う。先日、久し振りに母の手作り料理を賞味し、その味わいの深さを改めて感じたのである。それは、ごく普通の豆の煮付けであるが、母の苦労が豆の一粒一粒に浸み通り、デパートのそれとは一味も二味もうまかったからである。このこと一つをとっても、最近のパック詰めで食品に慣らされた私たちが、食物の微妙な味を忘れてかけている証明に他ならない。

今、世界は数十年後の食糧危機を予測し、このことは人類の危機として訴えている。この豊かな食生活がいつまでも続くとは思えない今、私たちは美食からもう一段先を考えた食生活を心掛ける時期を迎えているように思う。

星の子



◎登校時間に余裕を持たせる
入学当初の子どもは、新しい環境の中でいろいろなことに神経を使い疲れています。睡眠不足で朝寝坊をしないよう、夜は早めに寝かせ、朝は登校時間に余裕を持たせて送り出すようにしましょう。

◎明日の準備は寝る前に
忘れ物をしたため、途中であわてて取りに帰る道で、事故に遭うケースが多いのです。夜、寝る前に翌日の準備をさせ、忘れ物がなにかどうかを点検する習慣を、ふだんから身につけさせましょう。

◎出かける間際にしからない
しかられると、子どもはそのことで頭がいっぱい。周囲の状況が

目に入らなくなり、思いがけない事故のもとになります。子どもが家を出る時は笑顔で「いってらっしゃい」と声をかけましょう。

◎通学路を歩くように徹底
入学前に、子どもと指定された通学路を歩き、横断歩道の正しい渡り方、信号の見方、標識の意味などを勉強し合しましょう。

◎下校時は道草をさせない
下校時は、勉強が終わった解放感もあり道草をしがちです。そんなとき交通事故が起こることがよくあります。学校が終わったら、まっすぐ家に帰る習慣を着けさせ

ましよう。

◎雨の日は身軽で明るい服装を
雨の日はドライバークの視界が悪くなり、黒やグレーなどの衣服では目立ちません。白や黄色などの明るい色を選びましょう。

また、できるだけ物を持たせないように。持ち物が負担になって周囲に対する注意力が散漫になりがちです。

◎物陰で遊ばないよう
子どもは物陰で遊ぶのが大好きです。特に停車している車の陰で遊ばないよう、よく言い聞かせてください。不意に飛び出すと大変危険です。

子どもは、大人や年上の子どもとのまねをする傾向があります。正しい交通ルールを教えるためにはふだんから母親が良い手本となるよう心掛けることです。それが、子どもを交通事故から守る大きな力となるのです。

資料・東海地震 ⑧ 富士山の中で断層を発見

東大地震研 恒石幸正

断層というものは、地球の表面層部をとりまく岩石中に生じた「切れ目」ですから、平面の面を「断層面」と呼びます。東海地震を引き起こす富士川断層が存在するものならば、何とかしてその断層面をみつめてみたいと考えるのが自然です。

地面は、ふつう土や新しい堆積物によっておわれていますから、断層面をみつけるためには、谷の中を探るのがよいのです。そして、とうとう富士山中の谷で、富士川断層の露頭を発見できました。富士宮の市街地から表富士登山道を登ると、標高六百五十メートル付近から西へ入る林道があり、この林道は谷を渡ります。二百メートルほど谷をさかのぼると、下の写真のような断層に出合います。

断層は、天母山溶岩を切っています。断層面上を水平なスジが平行に切っています。これは「断層糸線」と呼ばれるもので、断層の



運動方向を表しています。断層糸線が階段状になっている様子にも注意することによって、富士川断層が左横すべり断層であるという動かね証拠が得られました。

この発見のためには、富士山中の谷をくまなく歩いたんでしょうか。実は、空中写真を判読して予測を立てた後、発見に至ったので、よほど透徹した目で空中写真を見ないかぎり、何もみえません。

戸籍の窓

58・2・1〜2・28届出
(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
堺町	渡邊 英子	睦章 二女
〃	相馬 頼子	太郎 長女
川坂	望月 聖子	良章 二女
宮町	浅場 香苗	満雄 長女
〃	熊谷 徹春	将樹 長男
幸町	小林真由美	儀詔 二女

一里塚



2月末の新聞に「無償の好意に
厳しい判決」——預った幼児が池
で水死した事件の損害賠償請求訴
訟で、預った側にも「監督責任あ
り」と厳しい判決が下された。こ
の場合、どのような経過でこのよ
うな結果になったか知らないが、
何んでも判決に持ち込むことが最
善の方法なのか、私たちが真剣に
考えなければならぬ。人間の共
同社会における一つのルールの大
成である法律とはいえ、人間と人
間との信頼関係まで束縛してよい
のだろうか、そしてそれが人間の

かなしみ

区名	氏名	年齢
上町	齋藤りゆう	八三
四十九町	堀河なか	九四
本通一	常葉榮一	八七
東町一	渡邊ふみ	六七
南町二	稲葉寅吉	八八
富士見町	井出らく	八二
八幡町	稲葉景敏	六四
清水町	田中俊雄	六八
大北町	吉田ナヲ	七六
〃	杉山しげ	六六
俵下町	小林繁治	七八
〃	石川勝治	九二

東町一 大村 竜義 孝雄 二男
日の出町 川口真太郎 清 長男
南町一 遠藤 純子 稔 長女
南町二 天野 美佳 光雄 二女
富士松野 田形 和亮 誠治 長男
〃 深澤 忠将 明博 長男
〃 山下 紘司 佳一 二男
清水町 馬飼野智美 修治 二女
〃 高岡 勇人 利明 三男
〃 石川 千晶 利信 長女
俵下町 小川記代子 高譽 二女

心の中の親切・好意・善意をも殺
していいのだろうか。私は疑問に
思う。

私も去年の10月に、第一子の長
男が誕生した時、喜びの反面、こ
の子の成長していく段階で、父親
としての責任が果せるだろうかとい
う不安が頭に浮んだ。やがてこ
の子が成長し、子ども同士で遊ん
でいて、誤ってケガをさせてし
まったり、友だちの家で自分がケ
ガをしたりすることなど、この
ニュースに似たことは、よくある
ことと思う。

現在、中学生の間での校内暴力
あるいは子ども間の非行が問題に
なっているが、人間と人間との信
頼関係がなくなってきた今の社会

町への寄付金

(敬称略)

三万円	社会福祉事業費へ	原方 稲葉 厚
一千万円	野田育英奨学基金へ	東京都 野田 力三
五万円	社会福祉事業費へ	大北 吉田 虎男
五十万円	社会福祉事業費へ	本通り一 佐野 卓博

おかささんの知恵袋

相生町婦人会は、町婦人会の生
活部に所属し、ふよふよの会とも
に昭和57年度一年間、毎月第一日
曜日に、空カンを中心にゴミ拾い
を行ってきました。その中で、夏
と冬の二回は、子供会と一緒に
行いました。そして、子どもたちが
その時の感想をまとめたものの一
つが次の作文です。

昔から「子どもは母親の後姿を
見て育つ」といわれますが、体験
をとおしての卒直な気持ちをお切
にして、成長していつてもらいた
いと思います。

かんひろい

一 小二年 望月 淳

きょうは、子供会でかんひろい
をしました。かげのほうに、かく
してすててあったり、畑の中に、
なげすててあったりして、ひろう
のに、とてもたいへんでした。

ぼくは、シズオカヤのふくろを
おかささんにもらっていたので、
ふくろがいっぱいになるまでが
ばってひろいました。ぼく一人で
も、こんなにたくさんひろったん
だから、友だちのぶんを、あわせ
ると、ものすごいゴミだなあと
思いました。ぼくはゴミをやたらに
すてないように、きをつけたいと
思いました。



〔文協俳句会〕

宮町 増井 冬木

菜の花や入学祝ふ子直ん中に
地球無事に廻り孫ども入学す
氏神へ詣で続けて寒明かす

大北町 天野 たま

青天へ語りかくごと木に芽吹く
嫁入りの荷の先行くは初蝶や

南町 法月 幸子

師や友や十指に余り春隣
着く声の美しく賑やか春炬燵

南町 影島 智子

ミンクシヨール掛け東京に二日泊
つ

四月馬鹿住めば都と声張りぬ

南町 田辺つぎ子

子の進路決まりよく咲く福寿草
旭町 笠井みち子

二十年わがぬくもりのシヨールか

清水町 宇佐美裕子

山犬の咆哮春を呼ぶふなり

南町 宇佐美幸子

湯気立ててあがる湯豆腐夫婦る

南町 上野みつ子

湧く水を賜へる神に注連飾る

南町 上野 君江

馬鈴薯を植ゑ終へ夕日存分に
耐うるだけ耐へて紅さす杜松の芽

南町 望月 洋子